

株式会社 博多の味本舗

〒811-1213 福岡県那珂川市中原6-1-22
TEL 092-408-1780 HP <https://hakatanoaji.jp>

業 種 飲食料品卸売業
従業員数 5名
資 本 金 100万円

事業内容

魅力ある博多の味を独自レシピでご提供

2014年の創業以来、天然だしや明太子などの地元特産品を百貨店やふるさと納税品に提供するほか、独自の通信販売事業も行ってきた。魅力ある博多の味を味わってもらえるよう味や風味にこだわった独自レシピで提供することや、お客様に少しでも早く届けられるよう、在庫を持たず、集荷したその日のうちに梱包、発送することを強みにしている。近年は、ネット販売にも力を入れており、1日あたりの販売量は年々拡大している。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 6回（支援期間：10カ月）

- 受発注、請求に用いている複数のソフトをデータ連携
- 手入力と目視確認、帳票作成作業などを大幅に効率化



Q どんな困りごと（課題）がありましたか？

これまで売上の大半をふるさと納税に頼ってきましたが、今後の市場の変化を踏まえ、BtoCの通販事業を拡大していきたいと考えています。

現在は1日あたり10件程度の受注ですが、人員を増やさずに1日100件に対応できる体制を目指しています。

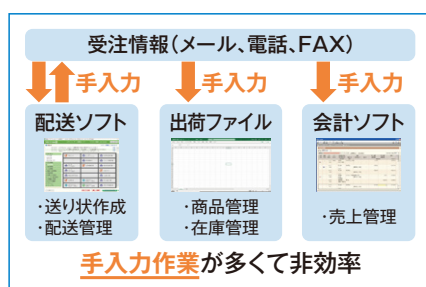
しかしながら、電話、FAX、メールなど受注形態が多様であること、受注ソフト・配送ソフト・出荷ファイル・会計ソフトなど複数のソフトを別々に使用しているためデータの再打ち込みやチェック作業に時間が掛かっていること、ピッキングリストがなく送り状や納品書などもバラバラに存在しているため仕分けに時間が掛かるなどの課題があり、現状の人員では到底1日100件の受注に対応できません。

また、配送状況の問合せ対応やリピート注文に即座に対応できないことも問題となっていました。

課題 3 4 5



通販業務風景

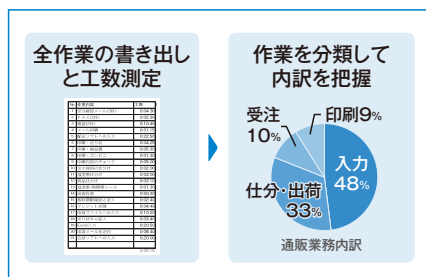


現状業務の問題点

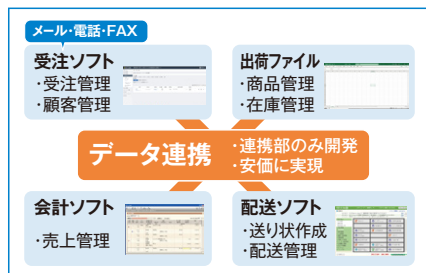
Q 改善の取組み内容を教えてください

まず、受発注や発送など全ての作業を書き出し、工程数や工程に掛かっている時間を明らかにしたうえで念入りに分析を行いました。その結果、顧客や商品情報の手入力や、印刷した情報の目視チェックに時間が掛かっていること、受注ソフト・配送ソフト・出荷ファイル・会計ソフトなど複数のソフトをバラバラに使用中、ソフト間の手作業による再入力や細かなチェックに時間が掛かっていることが大きな要因だということが定量的に分析できました。

これらの課題に対し、バラバラに存在しているソフト間でデータを連携させ、手入力や目視チェックを廃止できる連携システム仕様を考案しました。その際、既存のソフトをできるだけそのまま流用し、ソフト間の連携部のみ新規開発することで、開発コストを抑える工夫をしました。



現状作業の分類と内訳



既存ソフトのデータを連携

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの
効果
(改善点)

連携システムを導入することでソフト間をデータで授受できるようになり、必要な情報が各ソフト間で自動的に割り付けられるようになったため、手作業によるデータの再入力や目視チェックが不要となりました。更に、送り状とピッキングリストおよびその他の仕分け情報を一つのシートに統合することにより、これまで複数の用紙を見ながら行っていた仕分け作業が効率化しました。

その結果、10件/日の受注の場合、工程数、工数を50%以上削減できました。受注件数が増えてもデータの処理時間はそれほど増えないため、100件/日の受注でもその日のうちに処理することができます。

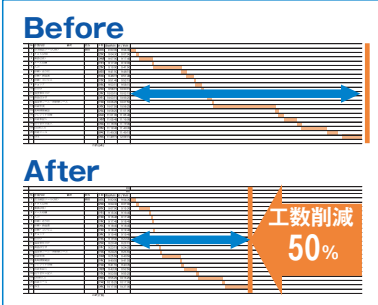
また、人為的ミスの低減や配送追跡情報の提供など、サービス品質向上にもつながりました。

副次効果

今後は一元化されたデータを蓄積することで、顧客のリピート注文に対するスピードアップや顧客の嗜好分析などマーケティングに活用することもできると考えています。

今後の目標

今回は通販事業の事務作業に重点を置いて効率化に取組みましたが、今後は受注の拡大に伴い取り扱う物量も増えてきますので、レイアウト、モノの流れ、人の動きなど作業改善にも取組み、更なる効率化を図っていきと考えています。



改善前後での工程比較



改善後の作業風景

企業様の声

これまで工程分析、工数分析の手法について知識がなかったので、支援を通じてその手法を学ぶことができました。現状を数値化し見える化することで悪さ加減や改善の効果がよくつかめました。

また、今回の改善で得られた余力を新規ブランド商品や新規構想中のパン事業に展開し、更に事業を発展させていきたいと思っています。



株式会社 博多の味本舗
代表取締役社長

中村 謙一 様

生産性アドバイザーから一言

小規模であっても持続可能な事業を地域に根付かせていくという熱い思い、新しいビジネスモデルに果敢に挑戦するバイタリティ、時代の変化に対応し、新しい市場を自ら作るフロンティア精神など、経営者として素晴らしい社長さんです。微力ながらお手伝いできて大変うれしく思います。今後の発展を心から期待しております。

生産性アドバイザー
福留 和浩

